



希望の標

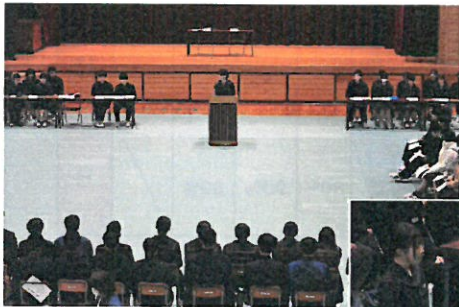
浜田市立浜田東中学校
学校だより2月号(2面)
令和6年2月22日発行

〒697-0006 浜田市下府町699番地 TEL:0855-28-3210 FAX:0855-28-3211 文責:領家 弘典

新生徒会による生徒総会

2月1日に、新生徒会による最初の生徒総会が行われました。1月に前役員から新役員へ引き継ぎが行われ、新しい体制による専門委員会で活動を計画しました。その内容について学級生徒会で話し合い、この日の生徒総会を迎えました。

新役員 of 皆さんは初めてのことで緊張もあったでしょうが、生徒総会に至る一連の活動を経験したことで、自信も深まったと思います。今後、ますます生徒会活動が充実していくことを期待します。



<生徒総会議場と
質疑応答の様子>



<今後の予定>

- 2月26日(月)27日(火) 1、2年期末テスト
- 2月29日(木) 専門委員会
- 3月 5日(火)6日(水) 公立高校入試
- 3月 5日(火) 1年生習熟度テスト
- 3月 7日(木) 3年生を送る会
- 3月 8日(金) 卒業式予行、同窓会入会式
- 3月 9日(土) 第25回卒業証書授与式
- 3月11日(月) 振替休業日
- 3月12日(火) PTA 役員選出保護者会
- 3月14日(木) 1、2年生期末学年懇談
- 3月17日(日) しまね家庭の日
- 3月22日(金) 修了式・離任式・大掃除
- 3月26日(火) 新入生物品販売
- 4月 8日(月) 着任式・始業式
- 4月 9日(火) 入学式

浜田の水産業への関心を

～「サバをさばく！」1年生～

1年生の技術・家庭(家庭分野)の授業では、自分たちで調べたことをもとに、浜田で獲れる魚を使った料理について考えました。水産振興課の方や商工労働課の方に来ていただいて、プレゼンテーションをしました。

2月14日、16日には、「サバの煮食い」と「リンゴのコンポート」を調理しました。学校栄養士さんに加え、心強い地域講師の皆さんを国府まちづくりセンターの平野さんにご紹介いただき、各班で1尾ずつのサバを丸ごとさばきました。

講師の皆様ありがとうございました。

講師:寺本 浩一さん

地域スタッフ:鵜飼 澄子さん

安武 千世代さん

大崎 広美さん

実習のサバは水産振興課を通じて渡辺鮮魚店さんにお世話になりました。他の食材の仕入れではキヌヤ国府店さんにご協力いただきました。



<調理実習の様子>

～ノドグロ学校給食 3年生～

市内小中学生の水産業への興味・関心を高めるために、今年もノドグロ学校給食が実施され、2月20日に3年生に提供されました。

浜田水産高校食品流通科の生徒さんに下処理をしていただき、給食センターの皆さんが心をこめて調理してくださいました。

関わった方々の作業の様子やメッセージをDVDで視聴し、おいしいノドグロとふるさとの温かさを味わって、卒業前の思い出に残る時間になりました。

「みんなの人権を尊重し、互いの考えを伝えて認め合いながら
主体的に話し合い、学び合うことができる生徒の育成」

学校づくりのスローガン



「一人一人のことを大切に『みんなの学校』を自分たちで創っていこう」 学校HP用QRコード

令和5年度 学校評価の報告

12月にご協力いただいた学校評価アンケートの結果をもとに、校内でも検討を進めています。2月20日には学校評議員会が開催され、今年度の短期目標の評価について、審議していただきました。結果は以下の通りです。

今年度は保護者アンケートでも多数の回答をいただき、ありがとうございました。数値の多少だけでなく、平年比や立場による結果の違いにも、分析を進めています。アンケートの集計結果のグラフを学校HPに掲載しています。

中期目標	短期目標	達成のための手立て (具体的な実施内容)	評価指標	目標値	アンケート結果 (肯定的回答の割合)			評価
					職員	生徒	保護者	
今日の教育課題に向けた学校経営に	働き方改革の推進 業務の効率化	・エクセルを活用した 情報共有システムの活用 ・計画的な年休取得の促進 ・SSSの活用	業務の効率化が実感できた割合 4月～12月に年休3日以上を取得した職員の割合	80%	86%			A
				80%	86%			A
	ICTや広報誌等の活用 適時的、効果的な情報提供	・すぐるを活用した保護者連絡・HPの更新、便りの発行、行事等の迅速な情報提供	適時的、効果的に情報提供がなされていると思う割合	80%	81%		73%	B
沿新つ習た習指導学育導習課要領指導の編趣充実とに	キャリアパスポートの活用 計画的、系統的な進路学習	・キャリアパスポートの見直し ・職場体験活動の実施 (事前・事後学習の充実)	・次の学習や生活への意欲につながったと感じる割合 ・自分の進路に対する考え方を広げることができたと感じる割合	80%	90%	80%		B
	地域教材を利用した授業づくり 職場体験学習の連携、推進	・まちづくりセンターとの連携、協力 ・市内の「ひと・こと・もの」の有効活用	ふるさと「浜田」について、新たな気づきがあったという生徒の割合	75%	95%	91%	76%	A
	授業における各機器の活用 タブレットの家庭での活用 授業研究での各機器の活用	・教職員への研修の実施 ・家庭で使用するための持ち帰り 規定の作成	・授業内でタブレットを使用した割合。 ・家庭へ持ち帰って使用した割合。	70%	71%	85%		A
コ豊かな人間性シとン力の育成	個に応じた支援の工夫と組織的な 対応の継続	問題の早期発見・対応・活用のために ・定期的な情報交換 ・学校生活に関するアンケートの実施 ・スクールカウンセラーの活用 ・関係機関の活用	困ったことが解消されたと思う割合	80%	95%		75%	B
	基本的な生活習慣の育成 ・あいさつ、返事、服装 ・公共ルール、マナー	生徒会執行部と連携した指導	生徒会執行部と連携した指導を通して、基本的な生活習慣が身についたと思う割合	80%	90%	95%	69%	A
	対話による人間関係作り ・教育相談 ・生活ノート	・教育相談や生活ノートへの誠実な対応 ・日常的な教員からの声掛け	一人一人が大切にされていると感じる割合	80%	95%	90%	65%	A
感対染策症	感染症対策と健康管理	・環境の整備(換気・掃除) ・給食前の手洗い・消毒 ・健康観察と体調不良者の早期対応	生徒が実践できていると考える割合	80%	100%	87%		A
互いの権利や	人権講演会、研修会の工夫 生徒の意識、態度の育成	・人権に関する最新の情報を取り入れた職員研修・講演会を充実させる。 ・生徒会主催の人権集会を実施し、人権課題に主体的にかかわろうとする態度を育む	人権に関して意識が高まったと思う割合	80%	95%	98%	69%	A
主 体 的 に 生 徒 の こ と が 成 が	話し合い、表現活動の充実	・各教科で計画的に話し合い活動を取り入れる ・話し合い活動時のポイントを意識させながら活動に取り組みさせる	・話し合い活動を通して自分の考えを深めることができたと感じる割合 ・話し合い活動で自分の意見を表現することができたと感じる割合	80%	95%	94%		A
	家庭学習の充実 定期テスト期間の学習状況の記録と振り返り	・自主学習ノートを充実させる ・テスト計画表の活用	自分で計画を立てて家庭学習に取り組むことができたと感じる割合	80%	86%	66%	50%	B